

7 月 17 日 : VN 指数は大幅に下落 (VN-Index -0.98%)

- VN 指数は上昇して開始した後、すぐに前日終値のラインを割り込んだ。買い戻しの動きも見られたが、前場はマイナス圏での推移となった。
- 銀行セクターの大幅な上昇が相場の支えとなったが、その他のセクターの急落によって足を引っ張られた。
- 後場、ボラティリティが上昇。買い戻しの動きが徐々に見られたが、利益確定とみられる売りが殺到し、相場は大きく下落した。ただ、底値拾いの動きも強く、取引終盤には幾分の回復がみられた。
- 銀行セクターを除き、多くのセクターが下げ幅を広げた。
- 109 銘柄が上昇、369 銘柄が下落、33 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 78.6% 上昇し、29.3 兆ドンとなった。

VN30 指数はプラス幅を維持 (VN-30 +0.16%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、9 銘柄が上昇し、17 銘柄が下落、4 銘柄が変わらずであった。
- TCB (+4.41%) や MBB (+4.03%)、HDB (+1.82%) といった銀行銘柄が指数の上昇を支えた。
- その一方で、GVR (-6.94%) や POW (-6.71%) が大きく下落した。

セクター・個別株の動き

- GVR(-6.94%)は、資産管理・使用法違反により高級幹部が起訴され、このことが投資家から不安視された。
- VHC(-2.30%)は 2024 年 6 月の業績を発表。売上高は 1 兆 300 億ドン（前年同期比+39%）と良好な結果となった。主に、副産品（同+39%）と雑収入（同+51%）の増加が寄与した。

- 外国人投資家は 5930 億ドルの買い越しとなった。MWG (-0.94%)、FPT (-1.57%)、VCB (+0.11%) が 1 銘柄あたり 1,000 億ドルを超える買い越しとなった。一方、MSN (-2.97%) の売り越しが目立った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。